

政策の柱	Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	2 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。	H23中間総括評価時点の政策の達成度	<b>C</b>	A:順調 B:概ね順調 C:少し遅れている D:遅れている
------	---------------------------------	----------------	--------------	---------------------	--	--------------------	----------	----------------------------------

1 政策を構成する各施策の取組状況

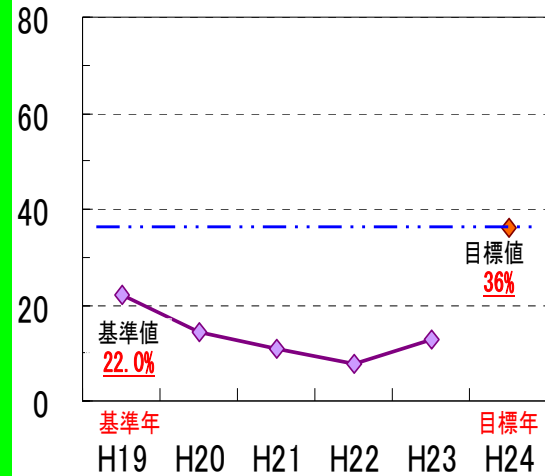
No.	施策名	主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標 指標の数値	課題
1	商店街の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための魅力向上策を推進している。</li> <li>◆本市の顔ともいえる中心市街地の活性化を図るため、空き店舗の減少・魅力向上に向けた支援を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆厳しい経済環境の中、地域経済の活力の維持・向上に対する施策の重要度は高いが、施策への満足度は低い状況。</li> <li>◆中心市街地出店等促進事業補助金を利用した出店店舗数は順調に伸びていたが、再び減少に転ずるなど、指標の増加には結びついていない。</li> <li>⇒平成22年度に開催した「空き店舗対策連絡協議会」の検討結果を受けた事業の見直し・新事業実施等により、商店街の活性化を図り、施策目標値の達成に努めていく。</li> </ul>	72.8%	◎休日の中心商店街の通行量 現状値 H23:104,076人 ↓ 目標値 H24:143,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街については、競合状況にある大型店舗と棲み分けを図り、高齢化の進行により増加が懸念される買い物弱者等への対応など、エリアの状況に合わせた身近な買い物の場としての機能と、地域における公共的な機能の維持・充実を図っていくことが課題である。</li> </ul>
2	中小企業の経営・技術革新の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中小企業の持続的な成長を支えるため、経営・技術革新の促進を支援している。</li> <li>◆伝統工芸など地域や暮らしに根付いた技能・技術を保存・継承し、後継者育成や販路拡大への支援をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新興国の台頭や経済のグローバル化が進む中、中小企業においては更なる体力強化が喫緊の課題であり、そのような中、施策の重要度は高いが、施策への満足度は低い状況。</li> <li>◆景気が先行き不透明である中、高度化設備設置補助を活用した企業が減少し、指標の増加に結びついていない。</li> <li>⇒事業のPRを積極的に行うなど、更なる支援の促進を図る。</li> </ul>	55.6%	◎高度化設備設置補助制度を活用した企業数 現状値 H23:25件 ↓ 目標値 H24:45件	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆景気が先行き不透明である中、中小企業の技術の革新・経営の合理化の意欲を高めるため、企業ニーズを踏まえた中で、商工会議所や商工会と連携を取りながら、有効な手法や事業のPRを検討するとともに、事業内容を見直し、充実した補助制度に取り組む必要がある。</li> <li>また、生活文化に密着した伝統工芸などの技術の継承・後継者育成が課題である。</li> </ul>
3	安定した経営基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企業経営における基礎体力を強化するため、安定した経営基盤の確立を支援している。</li> <li>◆中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、経営支援の一層の充実を図る取り組みを実施している。</li> <li>◆中小企業の資金調達の円滑化のための直接支援を実施している。</li> <li>◆中小企業との結びつきの深い商工団体との連携強化を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成21年度の中小企業の製造品出荷額は、リーマンショックによる不況の影響が深刻化し、大幅に減少した。平成22年度においては、回復傾向にはあるものの、依然として厳しい状況が続いている。</li> <li>⇒引き続き、中小企業との結びつきの深い各商工団体への補助事業について、補助金交付先団体との意見交換等を通じ、情報等を共有し、相互補完できるよう連携の強化を図る。</li> </ul>	-	◎中小企業の製造品出荷額 現状値 H23:— (H22:563,481百万円) ↓ 目標値 H24:685,027百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リーマンショックや震災による不況の影響が深刻化しており、中小企業においては、急激な社会環境の変化にも迅速に対応できるよう、安定した経営基盤の確立が喫緊の課題である。</li> </ul>
4	市場機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市場機能の充実のため、施設・設備の維持整備、修繕を進めている。</li> <li>◆市場の活性化を図るため、一般開放や市場見学会・市場講座など食育・地産地消活動の取組を進めている。</li> <li>◆食の安全・安心を確保するため、市場関係業者との連携を図り、衛生管理・品質管理の強化や危機管理体制の整備を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施策指標の「中央卸売市場取扱高」については、需要の低迷や市場外流通の増加などを背景に減少傾向にあり、平成23年度実績は、平成19年度比で17.7%の減少となっている。</li> <li>⇒平成24年度末の見通しとしては、東日本大震災の影響や市場を取巻く環境が今後も厳しい状況が見込まれることから、目標の達成は困難な状況である。</li> </ul>	82.3%	◎中央卸売市場取扱高 現状値 H23:155,404t ↓ 目標値 H24:188,849t	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設・設備については、老朽化への対応、低温卸売場などの必要機能の整備が課題となっている。</li> <li>◆取扱高が減少傾向にある中、多様化する出荷者・実需者のニーズに対応した取扱高の拡大、市場の活性化・効率化が課題となっている。</li> <li>◆食の安全・安心に関する市民ニーズの高まりの中、市場流通品の食の安全・安心に対するPRの強化が課題となっている。</li> </ul>
政策を構成する施策指標の達成状況		<b>C</b>	※各施策の「指標の達成度」の平均値をA～Eの指標で提示 90%以上:A 80～90%:B 60～80%:C 40～60%:D 40%未満:E	施策指標の達成度 平均値	70.2%	

2 これまでの取組状況（H20～H23）と見直し

主要な取組内容	成果の大きい施策	「安定した経営基盤の確立」については、リーマンショックや東日本大震災による景気の悪化を受け、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、制度融資や商工団体への支援を通して、商工業の活力を高めることに寄与している。	外部要因など 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆買物弱者について全国的な課題となっており、課題解消のための商店街に対する期待は大きい。</li> <li>◆栃木県は、平成23年3月に策定した「新とちぎ産業プラン」の中で、小規模事業者の経営力向上支援などの「小規模事業支援」などを重点プロジェクトとし、計画期間の5年間に特に重点的に支援に取り組むこととしている。</li> <li>◆中心市街地の空き店舗数は120件前後で微増・微減を繰り返している。</li> <li>◆リーマンショックによる不況後、生産活動が持ち直しつつあったが、東日本大震災による影響で一気に悪化した。</li> </ul>	実績とH24末の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街の魅力向上については、世界的な不況の影響を受け、休日通行量は目標値を下回っているところであるが、中心商業地出店等促進事業補助金の事業見直しや、学生による空き店舗活用活性化事業等を実施してきた。</li> <li>⇒震災による消費低迷が影響する中、引き続き、社会環境の変化に対応した有効な手法の検討や、商店街等の活性化に向けた主体的な取組体制の強化など、着実に施策を推進している。</li> <li>◆中小企業の経営・技術革新の促進については、景気が先行き不透明である中、特許権等取得促進事業補助金申請社数やCSR認証企業数の増加など、施策事業を実施してきた。</li> <li>⇒引き続き、中小企業の技術の革新・経営の合理化のため、企業ニーズの的確な把握により有効な手法や事業のPRを検討し、着実に施策を推進している。</li> <li>◆安定した経営基盤の確立については、世界的な不況、東日本大震災の影響による経済不安の中、商工団体は経営相談などを着実に実施しており、それら団体への支援を通じ、総体的な支援を行うとともに、地元企業の身近な相談役である商工会の体制強化に向けた合併への支援、中小企業への直接的な支援策である制度融資により資金調達の円滑化に努めている。</li> <li>⇒引き続き、商工団体への支援を行い、連携を密にするとともに、市の補助制度、制度融資について、企業ニーズを踏まえた内容の充実が図られる見込み。</li> <li>◆市場機能の充実については、市場の効率化・活性化に向け、老朽施設等の計画的整備・更新はもとより、安全・安心な生鮮食料品の安定的な供給、親子市場見学会等を通じた市場PRに努めてきた。</li> <li>⇒市場環境を取り巻く様々な課題に中長期的に対応していくため、平成24年度に「活性化ビジョン」を策定するなど、持続可能な市場機能の充実・確保が図られる見込み。</li> </ul>
	取組の遅れている施策	<p>「商店街の魅力向上」については、中心市街地出店等促進事業補助金を活用した出店店舗数が再び減少に転じるなど、指標となっている通行量は微増にとどまっている。</p> <p>「中小企業の経営・技術革新の促進」については、景気の悪化を受け、中小企業を取り巻く環境が厳しい状況にあり、指標の増加に結びついていない。</p> <p>「市場機能の充実」については、卸売市場を取り巻く環境が厳しさを増し、取扱高・数量が減少傾向にある。</p>			

3 市民意識調査結果

H23市民意識調査	市民の政策満足度		政策に関する市民満足度の推移（H19→H23）
	H23満足度	達成率	
	12.9%	35.8%	
目標に対する達成率が 高：90%以上 中：70～90%未満 低：70%未満		低	



4 今後の方向性

今後の方向性
<p>本市の商工業の持続的な発展を実現するため、商工業者の活力を高めることが重要となっていることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街の魅力向上については、魅力ある中心商業地の整備促進・地域社会の核となる商店街の強化が課題となるため、中心商業地出店等促進事業補助金の見直し後の検証や、学生による空き店舗活用活性化事業、イベント広場の利用促進などの中心商業地への取り組みと併せ、周辺商店街についても、魅力ある商店街等支援事業補助金等を活用した地域と連携した活性化の取り組みを着実に進めていく必要がある。</li> <li>◆中小企業の経営・技術革新の促進については、厳しい経済環境の中、企業経営が先行き不透明であるため、高度化設備設置補助金の件数やCSR認証企業数が伸び悩んでいるが、高度技術開発の促進は喫緊の課題であるため、補助制度等の積極的な周知を図るとともに、商工会議所や大学等関係機関との更なる連携強化を図っていく。</li> <li>◆安定した経営基盤の確立については、経営支援体制の充実を着実に推進するため、商工団体への支援に加え、企業ニーズに即した制度融資の創設など、円滑な資金調達や事業承継を図れるよう努め、中小企業の経営基盤の確立を図っていく。</li> <li>◆市場機能の充実については、集荷力・販売力の強化などの行動計画を策定し、市場全体として取扱数量増加の実現に取り組んでいく。そのため、施設の長寿命化を踏まえながらも、品質管理面など、必要性が高く課題に挙げられている市場機能の強化に引き続き取り組んでいくとともに、一般開放や各種講座等による市場の役割や機能のPR強化を行うことで、生鮮食料品の消費拡大を図り、市場の活性化に引き続き取り組んでいく。</li> </ul>